

事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

地域NPOの基盤と発展(SDGs)を期す二次(R5-7)中期計画の初年度、課題①-⑤への向スタート年度、今後の事業への基本固め年度です。

1. 今年度の振り返りと成果

今年度の事業の重点テーマは、

- ① 通算12年の活動を通して積上った各々の事業資源を**地域事業として総合化**
- ② **世代交代**を完成する。(シニアの熟練者⇒30-50世代)
- ③ 子育て・シニアの各世代が主・従の役割を担い、**三世代協力地域事業**を定着する。
- ④ **地域子育て、介護予防で行政との地域協働事業**の柱を建てる。
- ⑤ **行政補助金**の縦割予算を、地域活動で要の**総合的横割執行運営**に結ぶ。

折しも、5月にR6.6法制化[地域の孤独・孤立防止法]の予備調査として、[NPO等が主体となった日常生活における孤独・孤立の予防や早期対応につながる取組の普及を目指す取組モデル]調査の公募(R5.4.26-5.26)がありました。私達が積み上げてきた事業の内容と正に重なります。

「街の家族、じっちゃん、ばーちゃん、皆んなで進めるこそだて見守り愛事業」として応募、受託、対応しました(R5.7-R6.1)。我々が目指してきました活動と人材・体制の成果です。

2. 対応と成果

三つのチームワーク ①チームワーク<食>②チームワーク<保育>③チームワーク<こども>体制による対応をすすめました。

①チームワーク<食>

食を介した三世代の

コミュニティの協力事業

- ・協力者横繋がり(人・団体)の拡大
- ・食材協力 地元農家、団体・企業等
基本食材、野菜・米など食の縦の繋がりが厚みが拡大しました。



②チームワーク<保育>

まんまる一む事業

- ・地域の三世代見守りのまさしくその現場になってきました。
- ・内容の充実
 - 一地域子育て関係団体・施設等
地域連絡の仕組みとの連携
 - 一妊娠・出産期の健康・繋がり等
テーマごとのエキスパートパートナーネットワークづくり



③チームワーク＜こども＞

- ・登校困難等悩みを持つ方々のネットワークづくりを進めました。

休んでいいよ おしゃべりしましょ

(月1回)

- ・地域サードスペースの実現

位置づけ、地域ぐるみ連携推進、
まず協働への行動おこし！

(地域関係施設や区民利用施設等)



地域のこどもの国学童クラブさんのご協力をいただき 子ども課題に向き合う WA・Law 事業の中で
フリースクールの開校が具体化ができたことは、今後への大きな一歩となりました。

充実してきた人材、地域事業推進力の延長線上に、今後への事業への見通し

①総合化、②世代交代、③三世代協力地域事業推進：着実に進みました。

④行政協働事業、⑤行政予算縦割&地域執行横割：横浜市介護予防 B 事業見直の進行、地域における
孤独・孤立対策事業、25年、30年問題対応⇒R6,7年度の中期事業への重点へ

3. まとめと課題 <空家活用の事業での SDG 課題への全体的対応>

居住域の空家は色々な面で生活の場での生活福祉サービス提供の最適の場です。

一方、現在の活動場所：築後約60年、賃貸後12年を経過、Next Step 対応の時期となっています。

築き上げた人材、地域の繋がり、豊富な活動実績を総動員し、サービス毎の提供方式の特徴に合わせ

集中と分散、即ち、空家・空き室、地域の集会場、市民利用施設等活動の地域でのサービス提供の地域の場と

費用面について、地域的・行政的、NPO 等のサービスの提供者など、関係者の全体的な協調・協働の対応が
重要な事柄と思いますので中期的な対応を進めます。

以上